

# KANOYA

広報かのや お知らせ版 Vol.437



TOPIC

## 郷土の誇りを懸けた県下一周駅伝 肝属チームは郷土入りで日間優勝を獲得

2月17～21日、県内12地区のチームが熱い戦いを繰り広げる「第71回鹿児島県下一周郡对抗駅伝競走大会」が開催されました。郷土入りとなる第4日目は気温20℃を越す気候の中、霧島市からリナシティかのや前までの106.3kmを10人で懸命に襷をつなぐ激走を展開。沿道には地元の保育園児や小中学生が旗を持って応援するなど、地元選手の走りに大盛り上がりを見せました。肝属チームは4・5・8区の3つの区で区間賞を獲得し、見事日間優勝。総合順位でも4位となり、12年ぶりのAクラス復帰を成し遂げました。



▲大会前日には鹿屋市役所で肝属チーム激励のための出発式を実施。城ヶ崎大地主将が勝利に向けた抱負を述べました。